2021年難関エリザベート王妃国際コンクールで優勝!

務川慧悟、阪田知樹 各氏の入賞でも注目を集めた年です。 昨年の東京でのリサイタルは NHK テレビで放送され 特に今回とりあげる

「シューベルト:さすらい人幻想曲」の ダイナミックかつ詩情あふれる演奏で 聴衆の心をぐっとつかみました。

今回の来日では

唯一のソロ・リサイタルが名古屋で実現!

フルネルが愛してやまない作品ばかりを集めました。



ジョナタン・フルネルピアノ・リサイタル

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第31番 変イ長調 Op.110 Ludwig van Beethoven (1770-1827): Piano Sonata No. 31 in A-Flat Major, Op. 110

ショパン:アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 変ホ長調 Op.22 Fryderyk Chopin (1810-1849): Andante spianato and Grande polonaise brillante in E-Flat Major, Op. 22

* * *

メトネル:2つのおとぎ話 Op.20 Nicolai Medtner (1880-1951): 2 Fairy Tales, Op. 20

シューベルト:幻想曲「さすらい人」ハ長調 D 760 Op.15 Franz Schubert (1797-1828): Fantasy in C Major, Op. 15, D 760, "Wandererfantasie"

2025年 11月 9日(日) 14:00 開演13:30 開場[指定席] 一般5,000円 学生(対象:小学生以上25才以下の学生) 3,000円

チケットのお求めは 7月13日(日) 10時より 販売開始 ● 宗次ホールチケットセンター TEL:052 (265) 1718 [店頭購入は _{販売開始翌日より}]

●チケットぴあ WEB購入=https://t.pia.jp/ 店頭購入=セブンイレブン

●名鉄ホールチケットセンター TEL:052 (561) 7755

※「学生券」、「ハーフ60」は宗次ホールのみの取扱いとなります。 ※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。

絶妙なバランスで絡み合う怒涛のテクニックと熱情。

オーケストラ並みに多彩な音色のパレット。

そして楽曲の内奥に迫り、作品の細部に燦然たる光を当てる明晰さ。 しかし彼には何にもまして、聞き手の心に訴える表現力がある。

David Kettle, The Scotsman 紐

フルネルは虎だ---

力強さ、威厳、柔軟性、スピード、凄まじさ、エレガンスを兼ね具えている。

Alain Lompech, Bachtrack, 2021

音楽性と詩情にあふれるナチュラルな演奏が持ち味のフルネルは、 モーツァルトの《ピアノ協奏曲第18番》から比類のない透明感と抒情性を引き出し ブラームスの《ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ》においては、

物語を紡ぐ確かなセンスと熱烈な一面を発揮した。

Marie-Aude Roux, ル・モンド紙, 2021年エリザベート王妃国際コンクールでの演奏について

JONATHAN FOURNEL, PIANO

ピアノ:ジョナタン・フルネル

@marco-borggreve

2021年、27歳でエリザベート王妃国際コンクールに優勝。 同時に聴衆賞であるMusiq3賞ならびにCanvas-Klara賞も 同時受賞した。またそれ以前に20歳で、スコットランド国際 コンクールとヴィオッティ国際コンクールでも第1位に輝いて いる

アムステルダムのコンセルトへボウ、フィラルモニー・ド・パリ、ライプツィヒのゲヴァントハウス、ブリュッセルのパレ・デ・ボザールなどの主要ホールや、ヴェルビエ音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭などに出演。S.ドウヌーヴ、T.ダウスゴー、S.ゲッツェル、P.ロフェらの指揮のもと、NHK交響楽団、ブリュッセル・フィル、ルクセンブルク・フィル、ロイヤル・スコティッシュ管、パリ室内管などと演奏するほか、室内楽でもA.デュメイやG.カプソンなどと共演している。

自身が愛情を注ぐモーツァルト、ショパン、ブラームスの作品 の演奏において定評を得る一方、現代音楽にも高い関心を 寄せる。バクリの「ピアノ・ソナタ第3番」などの世界初演や、 ボイル、アデスらの作品をリサイタル・プログラムに含めるな ど、すでに幅広いレパートリーを築いている。 フルネルは、Alphaレーベルと契約。2021年10月にリリースされたブラームスのアルバムは、世界中の主要メディアから絶賛され、ディアパゾン、テレラマなどの賞を受賞。2024年2月には、H.グリフィス指揮モーツァルテウム管弦楽団とモーツァルトの協奏曲第18番と第21番を収録したアルバムがリリースされ、高い評価を得た。このアルバムは、オルフェウム財団主催の新世代モーツァルト・ソロイスツ・コレクションの一部で、複数のソリストをフィーチャーしたモーツァルトの協奏曲全集である。アルファ・クラシックからの2枚目のソロ・アルバム(ショパンとシマノフスキ作品)は、2024年8月にリリースされ、クラシカ誌のショック賞などを受賞。

フルネルは故郷サルグミーヌでピアノを始めたのち、ストラスブール音楽院、ザールブリュッケン音楽大学で学んだ。同時にG.マニャンのもとで、現在もメンター(師)の一人として薫陶を受けている。また16歳でパリ国立音楽院に入学し、B.エンゲラー、B.リグット、C.デゼール、M.ダルベルトに師事。2016年9月から5年間はブリュッセルのエリザベート王妃音楽院でL.ロルティとA.クユムジャンから指導を受けた。













■地下鉄栄駅(12)番出口より東へ徒歩4分



くらしの 中に クラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008 TEL:052 (265) 1715 FAX:052 (265) 1716 E-mail info@munetsuguhall.com URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター 営業時間: 10:00~16:00 不定休 (終了時間は17:00もしくは18:00の場合有)